

「居酒屋あさこ」  
「ただいま開店休業中！」  
お笑いタレント  
いとうあさこ

お酒業界の皆さん、新年あけましておめでとーございます。いとうあさこです。プロフィールには、「こ何年も「趣味」お酒」と書かせていただいております。

2017年も明けましたね。お笑い芸人としては、年末年始は1年でも一番忙しい書入れ時でもあります。もちろん、その合間に大好きなお酒もいただいております。

私のお酒好きはなんといつても血筋です。両親も双方の祖父母も、親戚やいとこ、兄妹も、さらにその配偶者まで一族みな呑兵衛です。一族の結婚相手の条件に、呑兵衛に限るのと条文があるかのごとく見事にお酒好きが揃っています。そんな血縁者ばかりです。そんな血縁者ばかりです。ですので、ひとたび集えばすぐに宴会が始まるのは自然な流れなのです。

幼いころの我が家のお正月は、両親と父方の祖父母、それに兄と妹の7人で祝う、ごく普通の昭和の家庭のお正月でした。成人してからはお屠蘇を形式的に飲みつつ、そ

のあとは、それぞれが好きなお酒をじっくり味わうという感じでしたね。ここ数年の正月の過ごし方は、実家近くの中華レストランで紹興酒を飲みながら中華を楽しむというスタイルが多いです。もちろん、空になる紹興酒のビンには数知れず……ですが(笑)。

お付き合いをしたハタチを過ぎてからのことでした。場所はその殿方と一緒に行った

武蔵境の小料理屋さんでした。

男を取り換えるように  
好みの酒も変わる……

私がお酒と出会ったのは、初めて殿方と

【プロフィール】いとうあさこ(本名:伊藤麻子)  
…生年月日:1970年6月10日、東京都生まれ。趣味はお酒とアコースティックギター。97年「ネギねこ調査隊」結成。03年より「いとうあさこ」で多数のお笑い番組に出演、人気を博す。現在は、『ヒルナンデス!』(日本テレビ、火曜日11:55~13:55)、『メレンゲの気持ち』(日本テレビ、土曜日12:00~13:30)、『世界の果てまでイッテQ!』(日本テレビ、日曜日19:58~20:54)、『大竹まことゴールデンラジオ!』(文化放送、水曜日13:00~15:30)に出演中。

それまでは、当時流行っていた「カルアミルク」や「ピーチツリーフーズ」などのカクテルを大人ぶって飲んでいました。だけど、ただ背伸びしているだけで、味なんてわかりません。雰囲気飲んでいただけでした。そしてそのわずか半年後に日本酒の美味しさを知ることになります。

さきほど、小料理屋と言いましたが、それは訂正。20歳そこそこの小娘が気楽に入れるような個人経営の居酒屋で、そこで初めて飲んだ「熱燗」の美味しいこと、美味しいこと。その夜を境に「私の呑み人生」がスタートいたしました。

その夜はかなり飲みました。でも、まったく二日酔いにはならずすっきりお目覚め。そのときは親から譲り受けたDNAを感じましたね。以来、お酒とは常に一緒です。

そして、年齢によって飲む酒類も変わっていきます。スタートは日本酒でしたが、20歳代でジンに嵌まったこともありましたが、30歳代では芋焼酎に魅了されていた時期もありました。40歳を超えた今、また日本酒に戻った感じが。流行に影響されることもあるでしょうが、一緒に飲む殿方の好みによっても……うーん、流されていたなあ。

20歳代で嵌まったジン。やはり当時の殿方と横浜に行ったとき、レンガ造りのビルにあっただギリシャ料理店での美味しさを知りました。それまではなんとなくスピリット系を敬遠していたんですが、クラッシュアイスにライムが入れたジンベースのカクテルを

勧められるままに飲んだところ、一瞬でその爽やかさに魅了されました。その後しばらくは、どこに行っても「ジントニック」や「ジンライム」でしたね。

芋焼酎に嵌まった30歳代は、とにかく美味いけど安いお酒を求めました。27歳と芸人としては遅いデビューでしたので、お金もあまりありません。「安そうなのこの店なら後輩芸人を連れていけるかな」とか、「割水を水道水にすると（会計が）安くあがるかな」とか考えた結果、芋焼酎に辿り着いたのです。

ところで、私には何を飲んでも、譲れないお酒へのこだわりがあります。たびたび言ってますが、「味」です。「酔い心地」というより「味」なのです。とかく若い世代は、盛り上がるのが優先で、わいわいと平気で一気に飲みをしたりする。私はこういう飲み方をどうしても許せないので。お酒に申し訳ない。だからただ盛り上がるだけのコンパなどは好きではないのです。もともとコンパに誘われることも少ないのですけどね……。何年ものワインとか、詳しいお酒のうんちくなどはわかりません。でもとにかく、価格は安くてもかまいませんが、美味しい味、わい深いお酒が飲みたい。そしてそのお酒に合う食べ物を組み合わせて楽しみたいのです。ある日、そんなことを母に伝えたことがあります。すると母も、「あら、私もよ」ですって。やはり血筋ですね。その母が作るもので好きなのは「塩辛」。

母から私、妹へと伝わっています。母の作る塩辛はイカ一杯に対してワタの量が通常の2倍です。これが日本酒にとにかく合うのです。

美味しいお酒にベストマッチの肴。家飲みでも外飲みでも、美味しいお酒とそれに合う肴……、この絶妙な肴に合うお酒は……と考えるようになりました。

これは大勢で盛り上がる席ではできません。ですから、自然と男女間わず、さし飲みが多くなります。気の置けない相手と、美味しいお酒と肴を楽しむ時間というのはホントに至福のひと時です。

## 「居酒屋あさこ」開店は 芸人仲間の失恋から

「居酒屋あさこ」——ついにはそんなタイトルのレシピ本まで出版してしまいました。

2013年頃のことです。ちょうどその頃、仲良しの先輩である大久保さん（佳代子）がお笑いコンビ「オアシズ」が大失恋をしまして、1日おきにうちに泊まりに来ていたのです。大久保さんの失恋の痛手を癒す意味もあり、必ず「家飲み」となります。でも傷心モードの大久保さんはいつ

も来かわかりません。ですのでも、いつ来ても肴を出せるように缶詰や食材を常備しておき、すぐに簡単に美味しい一品を出せるようにしていたの

です。そのため、やがて「居酒屋あさこ」と呼ばれるようになり、私としても海苔1枚でもどの店で購入した海苔が美味しいとか、肴づくりに嵌まっていきました。それをまとめたのがこの本でした。

あの失恋から3年——大久保さんは今でも近所さんなので一番の飲み仲間には変わりません。ただ40歳も後半になると和食、魚の美味しいお店に通うことが多くなりました。

最近では外で飲んでも2軒目はほぼ、大久保さんち。なぜなら大久保さんが犬を飼い始めたからです。大久保さんにとってはその子（犬）が心配でたまらないようで、「早く帰って家で飲もう」ってことになるのです。ということは、今のところ、「居酒屋あさこ」は開店休業中。今度のオープンには店主である私が失恋したときかかって？ 失恋する以前に、殿方の影すら久しく見ておりません（笑）。



大久保さんとともに♪